

# パラスポーツ体験型出前授業を通して違いを認め、誰もが活躍できる社会を D&Iプログラム「あすチャレ！ School」2019年度レポート シンガポール日本人学校での開催など40,000人以上が受講

日本財団パラリンピックサポートセンター（パラサポ）は、2016年4月よりパラアスリートから学ぶパラスポーツ体験型出前授業「あすチャレ！ School」（協賛：日本航空株式会社／JAL）を実施、デモンストレーション・パラスポーツ体験・講話の3部から構成される90分間のプログラムを通じ、子どもたちに学びと気づきの機会を提供しています。

2019年度は、初めてシンガポールの日本人学校3校を訪問、国内でもインターナショナルスクールや盲学校にて開催するなど実施校の範囲を広げ、2019年4月から2020年3月までに287校41,889名が「あすチャレ！ School」を体験しました。

※2020年度は、新型コロナウイルス感染症に対応した実施に関するガイドラインを新たに設け、体育館の広さに応じて実施人数の制限や通常のパラスポーツ体験プログラムを一部変更し、体験する児童生徒の接触が少ないプログラムにて実施いたします。

## ●「あすチャレ！ School」の実施実績

「あすチャレ！ School」は、小・中・高等学校向けのパラアスリートから学ぶパラスポーツ体験型出前授業。デモンストレーション・パラスポーツ体験・講話の3部から構成される90分間のプログラムを通じ、子どもたちに学びと気づきの機会を提供しています。

プログラム開始となった2016年度は目標とした100校を超える116校で実施、2017年度からはJAL協賛のもと日本全国へとさらなる展開を図り、北海道や沖縄などを含む263校で実施しました。2018年度は、当初より実施している車いすバスケットボールプログラムとゴールボールプログラム※1に加え、車いす陸上プログラムを開始し、2019年2月に全国47都道府県でのプログラム実施を達成しました。

2019年度は、7月に海外初開催となるシンガポール日本人学校3校で実施。講師も現役の車いすバスケットボール選手を含め3名増え運営体制が強化され、4万人以上の児童生徒が受講しました。

※1 ゴールボールプログラムは2019年度末をもって一旦終了しました。

### JAL協賛内容：

講師やスタッフの航空機での移動や競技用具等の空輸など各種輸送を全面的にサポート。北海道や沖縄を含む日本全国だけでなく、海外での実施も可能となりました。各地のJALスタッフも運営のサポートを行います。

### 対象：

小中高等学校の児童生徒

### 実施実績：

・2016年度：116校（18,575名）      ・2017年度：263校（42,741名）

・2018年度：296校（46,253名）      ・2019年度：287校（41,889名）

累計数は、962校（149,458名）となります。

## ●実施校からの声

本プログラムを通じて得た「気づき」や「挑戦したいこと」を行動につなげるため、体験後には自分自身の「明日へのチャレンジ＝あすチャレ！」をワークシートに記入してもらっています。

児童・生徒からは「失敗しても大丈夫だと思えるようになった」「困っている人がいるときには積極的に声をかけています」などの感想が届き、教員からは発展学習としてパラリンピックに関する掲示物を作成したり、グループ学習の発表会などを実施しているとの声が寄せられています。

2020年度からの新しい学習指導要領で重視される「主体的・対話的で深い学び」につながるプログラムとして、今後も活用されていくことが期待されます。



2019年7月のプログラム実施後の発展学習として  
生徒が掲示物を制作  
写真提供：市川市立福栄中学校

### 【メディアからのお問い合わせ先】

パラサポPR事務局（㈱アンティル）担当：根本・長谷田

TEL：03-6821-7863      FAX：03-6685-5265      Mail：[parasapo@vectorinc.co.jp](mailto:parasapo@vectorinc.co.jp)



●シンガポールの日本人学校、国内でもインターナショナルスクールや盲学校にて開催



写真は2019年7月シンガポールの日本人学校にて。海外在住の日本人の方々に日本での取り組みを知ってもらうとともに、パラスポーツに興味をもってもらうことを目的に実施、講師は根木慎志が務めました。



2019年7月に訪問したシンガポールでも現地のJALスタッフが運営をサポート



2019年7月に訪問したシンガポールでは、海外初開催を記念し盲目のシンガーソングライター木下航志さんがスペシャルライブを披露



2019年4月に実施した清泉インターナショナル学園での様子



2019年5月に実施した三重県立盲学校での様子

【メディアからのお問い合わせ先】

パラサポPR事務局（株アンティル）担当：根本・長谷田

TEL: 03-6821-7863 FAX: 03-6685-5265 Mail: [parasapo@vectorinc.co.jp](mailto:parasapo@vectorinc.co.jp)



# ●あすチャレ！ School 講師 現役選手を含む3名が新たに加わる

2019年10月には、長野1998パラリンピック銀メダリストの加藤正、現役の車いすバスケットボールプレーヤー橘貴啓と菊池隆朗の3名が講師に加わり、運営体制を強化しました。



根木 慎志(ねぎ しんじ)  
【車いすバスケットボールプログラム】  
シドニーパラリンピック男子車いすバスケットボール日本代表キャプテン  
日本財団パラリンピックサポートセンター「あすチャレ！」プロジェクトディレクター



加藤 正(かとう ただし)  
【車いすバスケットボールプログラム】  
パラリンピック夏冬合わせて5回出場のマルチアスリート



神保 康広(じんぼ やすひろ)  
【車いすバスケットボールプログラム】  
パラリンピック男子車いすバスケットボール元日本代表(4大会出場)



橘 貴啓(たちばな たかひろ)  
【車いすバスケットボールプログラム】  
車いすバスケットボールチーム「NO EXCUSE」現役プレーヤー



永尾 嘉章(ながお よしふみ)  
【パラ陸上(レーサー)プログラム】  
パラリンピック日本人最多となる7大会出場  
アテネパラリンピック日本選手団主将、  
4×400m(T53/54クラス)銅メダル獲得  
100m、200m(T54クラス)日本記録保持者



菊池 隆朗(きくち たかあき)  
【車いすバスケットボールプログラム】  
車いすバスケットボールチーム「NO EXCUSE」現役プレーヤー

「あすチャレ！ School」の最新情報は公式サイトをご参照ください

<https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/school/>

※2020年度は、新型コロナウイルス感染症に対応した実施に関するガイドラインを新たに設け、体育館の広さに応じて実施人数の制限や通常のパラスポーツ体験プログラムを一部変更し、体験する児童生徒の接触が少ないプログラムにて実施いたします。

## 「あすチャレ！ School」主催団体 日本財団パラリンピックサポートセンター(パラサポ)について

「SOCIAL CHANGE with SPORTS」をスローガンに、パラスポーツを通じて、一人ひとりの違いを認め、誰もが活躍できるダイバーシティ&インクルージョン(D&I)社会の実現を目指しています。

設立以来、パラリンピック競技団体の運営支援をはじめ、パラアスリートや障がいのある当事者と一緒を知る、学ぶ、体験する、パラスポーツを活用したD&Iプログラムを展開し、2019年にはスポーツ庁長官表彰を受賞しました。

パラサポ公式サイト <https://www.parasapo.or.jp/>



### 【メディアからのお問い合わせ先】

パラサポPR事務局(株)アンティル 担当:根本・長谷田

TEL:03-6821-7863 FAX:03-6685-5265 Mail:[parasapo@vectorinc.co.jp](mailto:parasapo@vectorinc.co.jp)